
泡の外

八尾利之

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

泡の外

【Nコード】

N0237F

【作者名】

八尾利之

【あらすじ】

宇宙の謎を解明する仮説を立てたN氏は、最新機器を使って実証を試みる。

「これで宇宙の謎は解明できる！」

N氏は機械が打ち出した解析結果を満足げに眺めて、念の為理論に間違いがないか再確認した。もちろん間違いはない。ないが、N氏は心底満足してはいなかった。

「これはあくまでまだ仮説だ。実証しなければ誰も信じてはくれない」

そこでN氏は、さっそく国内にある世界最大級の実験施設に連絡を取った。

「で、なんですと？ これでは宇宙の謎が解明できると？」
受話器の相手は半信半疑だ。

「さよう。私の仮説が正しければ、この実験によって、この宇宙が泡のように膨らんでいることが確認されるのです」

しばらくの問答があったものの、最終的に相手は実験を許可した。成功すれば歴史に名が残るし、失敗すればN氏のせいにする腹積もりであった。

かくして実験室を与えられたN氏は、あらゆる観測機器を設置した。

「これから私はこの実験によって泡を作るが、この泡はほんのわずかな間しか存在できない。生まれたとたんに消えてしまう。しかしそのわずかな間に内部の様子が観測できれば、私の説は証明されるのだ」

N氏は機器の電源を入れて、その瞬間を待構えた。

機械はブーンとうなりをあげて稼動をはじめ、バチバチと閃光が走る。

「今だ！」

N氏がスイッチを入れたのと同時に激しい衝撃が起こり、わずかな一瞬の間に泡が生まれた。

観測機器は全能力を全て開放し、泡の内部を探った。

内部は泡が生まれた際の激しい衝撃によって乱れていたが、長い時間（といっても、それは泡の内部時間の話で、実際はN氏が瞬きをするよりもはやい時間）をかけて落ち着きを取り戻すと、ミルクを垂らしたコーヒーのように交ざりあい、渦になって安定した。

機械は出力を上げてさらに内部に目を伸ばした。

ある場所では明るい一点の周りを暗い粒が数個回っていた。

そのうちの一粒は青かった。

さらに近付いてみると、粒の周りにはさらに小さな粒がひとつ周回しており、さらに近付くと、青い粒の中には青色だけではなく、茶色や緑色の部分もあることがわかった。茶色の部分にはキラキラと輝くものがたくさん密集しており、それはガラス張りのビルであった。ビルの一室にはたくさんさんの機材が置かれており、N氏が機械の弾き出す結果を今か今かと待ち構えていた。

ほんのわずかな瞬間のあと泡は消滅したが、N氏が自分の実験結果を認識するだけの時間は残っていた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0237f/>

泡の外

2010年10月12日06時57分発行